

Catalyst 6500 シリーズ スイッチ LTL パリティ チェックによる影響を受けるモジュールの識別

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[LTL のパリティ チェックの要求](#)

[該当するモジュールの識別](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチのパリティ チェックによって影響を受けるモジュールを識別するために使用する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチの Supervisor Engine 720
- [Local Target Logic \(LTL \) のパリティ チェック](#)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Supervisor Engine 720 が稼働する Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

LTL のパリティ チェックの要求

Catalyst 6500 シリーズ スイッチでこのログオンが発生する可能性があります：

%LTL-SP-2-LTL_PARITY_CHECK: LTL parity check request for 0x33C9

このログは、Catalyst 6500 シリーズ モジュールの一部で使用されるポート ASIC/ポート インデックス テーブルの Static Random-Access Memory (SRAM) のパリティ チェックを示します。

該当するモジュールの識別

パリティ チェックが発生したモジュールを識別するために、ログに表示される 16 進数を 10 進数に変換します。この場合、0x33C9 は 10 進数 13,257 に変換されます。

スイッチでshow diagnostic result module all detailコマンドの出力を収集して、13,257を検索します。これは、いずれかのモジュールのLTLインデックスとしてリストされます。

以下に、いくつかの例を示します。

```
6500#show diagnostic result module all detail
```

```
Module 1: CEF720 8 port 10GE with DFC SerialNo : XXXXXXXXXXXX
```

```
Overall Diagnostic Result for Switch 1 Module 1 : PASS
```

```
Diagnostic level at card bootup: minimal
```

```
Test results: (. = Pass, F = Fail, U = Untested)
```

```
1) TestOBFL -----> .
```

<snip>

```
15) TestLtlFpoeMemoryConsistency -----> .
```

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
```

```
Total run count -----> 2889738
```

```
Last test testing type -----> Health Monitoring
```

```
Last test execution time -----> Mar 15 2013 02:06:57
```

```
First test failure time -----> n/a
```

```
Last test failure time -----> n/a
```

```
Last test pass time -----> Mar 15 2013 02:06:57
```

```
Total failure count -----> 0
```

```
Consecutive failure count ----> 0
```

```
LTL PARITY
```

```
Ltl index -----> 13257
```

```
Rbh value -----> 255
```

<snip>

この LTL にマッピングするモジュール (ログが発生したモジュール) を検出するために出力をス

クローリングします。

関連情報

- [オンライン診断テスト - Cisco IOS ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド、リリース 12.2SX](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)